

札幌市駐車場事業経営戦略

団 体 名 : 札幌市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 平成 31 年 2 月

計 画 期 間 : 平成 31 年度 ~ 平成 40 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 度	平成7年4月9日
職 員 数	1人	施 設 名	円山公園駐車場
種 類	その他	構 造	立体式
立 地	その他	建設後(建替後)の経過年数	23年
駐 車 場 使 用 面 積	25,236㎡	収 容 台 数	959台
営 業 時 間	9時~17時30分	一 回 当 た り の 料 金	「(2)料金形態」を参照
収 益 的 収 支 比 率 分 ※ 過 去 3 年 度 分	H27 463.6%	H28 288.7%	H29 237.7%
稼 働 率 * ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	H27 70.1%	H28 48.3%	H29 49.7%
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託		
	イ 指定管理者制度	代行制	
	ウ PPP・PFI		

* $\left(\frac{\text{一日平均駐車台数} \times \text{一台当たり平均駐車時間}}{\text{収容台数} \times \text{営業時間}} \times 100 \right)$

(2) 料金形態

車種	営業時間 9時～17時半
二輪車	100円
普通車	700円
中型車	1,000円
大型車	1,200円

(3) 駐車場実態調査による現状把握・分析

円山公園、円山動物園、円山総合運動競技場(野球場、陸上競技場、庭球場)の駐車場として位置付けられており、競技大会の開催時には、大会関係者や観客の利用が多くなるが、それ以外は動物園来園者が大部分を占める。

2. 経営の基本方針

- ・環境教育・スポーツ振興の支援
円山公園、円山動物園、円山公園野球場、円山公園陸上競技場の駐車場として、環境教育、スポーツ振興を支援する。
- ・経営基盤の強化
指定管理者と連携して安定経営を図る。
- ・満足度の高いサービスの提供
利用者のニーズを的確に判断することに努め、顧客満足度の向上に努める。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

指定管理者と連携を図り、今後の修繕箇所・改修箇所について、検討を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

主な財源は駐車料金である。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

指定管理費：29,118千円
修繕費：1回の費用が20万円を超える修繕は動物園が負担する。
警備費：12,578千円(駐車場周辺道路の交通整理)

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	修繕箇所や設備投資すべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	検討の予定なし
防災・安全対策に関する事項	事故のないようサービス向上に努める。 修繕箇所を精査し、優先すべき箇所から修繕を行う。
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFI など)	将来的な施設の建て替えにあたってはPFIの可能性を検討する。
その他	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金形態に関する事項	定期的に他施設の料金の確認を行う。
稼働率に関する事項	毎月の事業報告で把握する。
繰入金に関する事項	減債基金からの繰入金あり
資産の有効活用に関する事項	利用者の少ない冬期間の利用者増に向けた対策の検討を行う。
その他	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	指定管理者制度を導入しており、民間企業のノウハウを活用している。
職員給与費に関する事項	市職員1人(兼務)で行う
委託費に関する事項	指定管理者制度を導入しており、管理業務を委託する。
その他	

4. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	円山公園、円山動物園、円山総合運動場は風致地区にあり、周辺には民間駐車場や大規模な駐車場がない。また大量輸送機関である地下鉄からも離れており、このため、施設の専用駐車場としての機能を有している。
公営企業として実施する必要性	円山動物園や円山総合運動場への来訪者の利便性を向上させることにより、本市の環境教育やスポーツ振興の支援を行う。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	毎月の報告書等から進捗管理を行い、指定管理者の更新時や大規模改修等の時期を捉えて経営戦略の見直しを行う。
---------------------	--

